

令和5年度 第83回通常総会

岡森連時報

2年連続 過去最高 木材取扱高 二十五万五千³m

6月30日午後3時30分から、岡山市北区の「サン・ビーチOKAYAMA」にて、第83回通常総会を開催し、令和4年度事業報告をはじめ、10議案が上程され、審議の結

果、全て原案どおり可決・承認されました。

冒頭、小野会長は主力事業である木材共販が昨年に引き続き過去最高の総取扱材積、二十五万五千三十三³mを記録したことに触れ、会員をはじめ関係者の皆様のご協力・ご支援によるものであると感謝の言葉を述べ、続けて『新型コロナウイルスの感染確認が国内で確認されてから3年が経過し、コロナ禍前の様子を取り戻しつつあるなど、景気の持ち直しが期待されているところであり

県森連連小野会長による挨拶

果、全て原案どおり可決・承認されました。

発行
岡山県森林組合連合会
岡山市北区橋津491-1
電話086(236)6530
FAX086(236)6531

ホームページ



Instagram



ますが、林業・木材業を取り巻く環境としましては、燃料価格の高騰や木造戸建住宅の着工数減少など、先行きは極めて不透明な状況にあります。

こうした中、森林組合系統としましては、森林資源の循環利用を図りながら、国産材の安定供給に努めていく必要があると考えており、一昨年に全国の森林組合の系統運動方針『Forestビジョン2030』を策定し、地域の森林の適切な管理と林業経営の更なる発展に向けて取り組んでいるところでもあります。

県森連におきましても、ビジョンの達成に向けて、県下3カ所の木材共販所に加え、「中間土場におけるサテライト共販」の拠点を増やすなど、県産木材の安定供給に努めるとともに、3割程度に留まっている再造林の推進に向け、「再造林とその後の下刈り経費を独自に支援する事業」や「苗木運搬用ドローンを活用した省力化林業の推進」などに取り組んでいるところであり、併せて、担い手の確保・育成が重要であることから、「現場

作業員の新規雇用支援」や「緑の雇用事業」等による専門的な知識・技術を備えた人材の育成を行っており、こうした取り組みを通じて、山元への一層の利益還元を図りたいと考えているところでもあります。」と開会の挨拶を行いました。

続いて、岡山県知事代理として万代農林水産部長から『岡山県では、森林整備や林業の振興等を推進していくための基本指針である「21おかやま森林・林業ビジョン」に基づき、少花粉苗木による再造林の推進、県産材の安定供給体制の整備や更なる需要拡大に努めるとともに、「森林経営管理制度」を担う市町村への支援や担い手の確保・育成・定着等に取り組んでいるところであり、岡山県森林組合連合会並びに県内の森林組合が地域や森林に精通した林業経営の中心的な担い手として引き続き、収益性の向上と経営基盤の強化に努めていたとともに、森林整備と県産材の安定供給に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。』とのご祝辞をいただきました。



万代農林水産部長
(岡山県知事代理)

感謝状贈呈

- 系統利用優秀森林組合
(年間取扱1億円以上)
- 真庭森林組合
 - 新見市森林組合
 - 津山市森林組合
 - 作州かがみの森林組合
- 系統利用奨励森林組合
(年間取扱2千万円以上で
対前年伸び率100%以上)
- 奈義町森林組合

新役員1名を選任

今通常総会において役員の補欠選任が行われ、新たに理事1名が決定しました。新役員を含め、今年度の体制は左記のとおりです。

岡山県森連 役員一覧

代理理事長	小野 泰弘
副会長理事	竹本 俊郎
代表理事専務	池田 稔
理事	小椋 美博
理事(新任)	植月 哲夫
代表監事	完田 二郎
監事	久内 昌平
監事	小橋 仙敬

近年、木材需給に対する不安から国産材製品への転換を促進するとともに、国産材の安定供給体制の構築が喫緊の課題となっており、一昨年に制定された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（都市の木造化推進法）などを背景に国産材活用に向けての動きが進んでいます。加えて5月に開催されたG7広島サミットの成果文書においても持続可能な木材利用を推進することが初めて明記されました。

消費税は、立木などの販売や素材生産等のサービスを提供するときに、森林組合や木材市場、製材所・工場などの各取引段階で消費税が累積することを排除するために、納付税額の計算の際に、売上げに係る消費税額から仕入れに係る消費税額の控除ができます（仕入税額控除）。

県内のスギ・ヒノキ人工林は本格的な利用期を迎えているものの、原木市場までの輸送コストがネックとなり利用が進んでいない地域が見られます。サテライト土場はそのような地域に

赤字は従来の区分記載請求書との変更点

出典 林野庁「平成27年度 森林・林業白書」

(株)日本オフセットデザイン総研による説明会や森林組合系統向けプラットフォーム (EC BAS) への登録案内を行う予定と
しています。

外の収入源を確保し、持続的な森林管理を進めていくことを目的に全国森林組合連合会、農林中央金庫と連携して、系統森林組合に対して制度の普及推進を図っています。

これまでに2回の制度説明会を行い、農林中央金庫岡山支店と連携した希望森林組合への個別説明会を2組合で実施しています。

また、林野庁がJクレジットの創出に初めて取り組む森林・林業関係者に向けて、必要な手続きやクレジット創出の際の注意事項などを分かりやすく解説したハンドブックを作成しているので、ご興味のある方は林野庁ホームページを「ご覧ください。」（林野庁ホームページの「キーワードから探す」から「Jクレジット」と検索）

新入職員紹介

県内の森林組合に新たに入られた職員の方を紹介させていただきます。

質問

- ①最近はまっていること
- ②好きな植物
- ③挨拶&抱負



岡山森林組合 沼本 龍

- ①家庭菜園
- ②栗・ブルーベリー・シシトウ・棉
- ③地域に貢献出来るよう頑張ります。よろしくお願いします。



新見市森林組合 浅野 嘉章

- ①読書
- ②サクラ
- ③林業は未経験なので、新しい知識を早く身につけ、自分の技術が役立つよう努力していきたいです。



新見市森林組合 佐々木 航

- ①飼っている蛇やトカゲのお世話
- ②ヒマワリ
- ③今年からお世話になります。佐々木です。怪我のないよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



真庭森林組合 黒田 侑希

- ①音楽鑑賞
- ②アカマツ
- ③今年度から真庭森林組合に入りました、黒田侑希です。まだ分からないことも多いので、知識・技能を柔軟に吸収していけるよう頑張りたいです。



作州かがみの森林組合 王賀 佑亮

- ①散歩
- ②フジ
- ③昔から農林業には興味関心があり、森林組合の仕事は自分の興味のあることでもあったので頑張ろうと思います。



1年前記念イベント

5月20日、西大寺緑化公園・百花プラザにて全国植樹祭岡山2024国植樹祭岡山県実行委員会などが主催する1年前記念イベント「百花彩」が開催され、会場では、アルピニストの野口健氏による環境問題と森林再生活動のテーマにした講演のほか、植樹祭に関するクイズラリーなど、約

新規雇用1人当たり10万円

当会では森林組合の林業労働に従事する現場作業員の新規雇用を支援する「森林組合新規雇用促進事業」を今年度、新たに開始しました。支援内容は新規雇用者1人当たり10万円を森林組合に交付するというもので、6月30日時点で2組合（計3名）から申請があり、既に助成金の交付を行っています。

フォレスター確保 独自に支援策

下刈り経費の一部を助成する皆伐・再造林促進支援事業を平成27年度から実施し、令和4年度からは、助成額を増額して

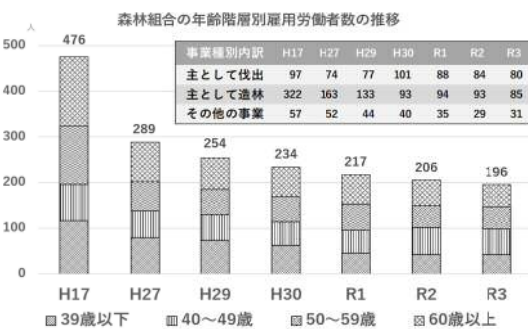
森林組合新規雇用促進事業の概要

対 象	会員森林組合
助成額	新規雇用者1人当たり10万円
条 件	下記の条件全てを満たす者を雇用した場合 1. 令和5年度中に雇用された者。 2. 林業労働に年間210日以上従事する見込みがある者。 3. 期間の定めなく雇用された者。 4. 社会保険および各種退職金共済に加入している者。
期 間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

20のブースが開設され、1万3千人が来場する大盛況となりました。当会のブースでは林業のPR展示のほか、丸太切り体験コーナーやシイタケの植菌体験コーナーなどを開設し、親子連れを中心に多くの方にお越しいただき、丸太切り体験コーナーでは、直径10cmほどの県産ヒノキ丸太を切断するため、子供たちが一生懸命にのこぎりを引いていまし



丸太切りに挑戦する参加者



資料：岡山県「岡山県森林・林業統計」、農林水産省「森林組合一斉調査結果」より作成

今回の新規雇用支援も林業サイクルの循環を推進する取り組みの一環であり、地域の森林管理において中核的な役割を果たす森林組合の林業就業者を増やすことで、約3割に留まっている再造林の実施率を上げる狙いがあります。

緑の雇用事業スタート

令和5年度「緑の雇用」担い手確保支援事業のOJT研修が6月からスタート、集合研修について



集合研修でのグループワーク風景

いても6月1日の1年目研修第1期をはじめ、順次開催していきます。

さて、今年度の「緑の雇用」の研修生は、1年目24名、2年目25名、3年目15名となっております。毎年多くの研修生が参加されており、一人ひとりが林業に対する熱意と目標を持ち、積極的に参加する姿が見られます。林業への関心が高くなってきている今、講師、安全指導員共々より一層研修に力をいれていきたいと思っています。

緑の雇用では、林業を始めて間もない新規就業者を中心に、林業に必要な基礎知識、技術、安全確保について研修を行っています。

審査委員会からは、「オンラインショップも併設された親しみやすいサイトであり、組織の事業内容がわかる写真も使用し、情報も豊富でホームページの目的を満たす作りです。」との講評をいただきました。

（一社）全国林業改良普及協会が主催する（林野庁後援、全国森林組合連合会協賛）「第56回林業関係広報コンクール ホームページ部門」において当会ホームページが奨励賞を受賞しました。

同コンクールは林業関係組織の広報活動の向上を通じて森林の整備、林業の振興に寄与することを目的に実施されており、広報的機能を中心に、文章力・構成・デザインなどが審査基準となっています。

います。現場研修では、県内の事業体から林業に精通した講師の方を派遣していただき、伐倒、刈り払い、ロープワーク、作業道開設、造材・集材など様々な研修を行っています。

また、労働災害が最も多い伐倒作業については、どこに気を付けているのか、倒れる仕組みはどうなっているのかなど、細かいところまで時間をかけて指導しています。



集合研修での伐倒実習風景

第30回加茂地区木材組合特別記念市

加茂地区木材組合が主催する特別記念市が5月25日、津山木材共販所において開催され、加茂地域からの出荷を中心に3,417mを集めるなど、盛況な様子が見られました。

開市に先立ち3年振りに行われた式典では、加茂地区木材組合の清水組合長が「木材価格が

導しており、安全意識について徹底して指導しております。林業では高い技術が必要ですが、いたるところに危険が潜んでいるため、安全対策を重点的に指導しており、労働災害ゼロを目指しています。

研修はまだ始まったばかりで

ソフトボール大会

新見地区素材生産者協議会
5月27日、新見市民運動公園



優勝した株戸川木材

で4年ぶりに「新見地区素材生産者協議会主催第6回親睦ソフトボール大会」が開催され、株戸川木材が優勝し、最優秀選手賞には（株）戸川木材の忠田あかりさんが選ばれました。

低迷するなど厳しい状況にある中で、製材だけではなくバイオマス向けなど、需要拡大に向けて努力していきたい」と挨拶され、続いて来賓として式典に招かれた当会の池田稔代表理事専務からは、当記念市を県森連津山共販所で開催していただけることへの感謝の言葉とともに、今回、出荷されている木材をこれまで守り育ててこられた方々に敬意を表されました。



式典で挨拶する清水義夫組合長